令和８年度　第１回湯沢学園学校運営協議会　会議録

令和８年４月 20 日（月）15：00～16：30

会場　湯沢学園　会議室

１　委員の自己紹介

（別紙　委員名簿参照）

２　令和８年度会長・副会長の挨拶

【会長挨拶】

今年度も子どもたちの挨拶運動を入学式翌日から行なっている。昨年度と比べると随分と良くなっていて、子どもたちから大きな声でしてくれるようになっていて、大変驚いている。こちらも気分が良くなっていて、夏休み後も長く続くようにしてもらいたいと思っている。

【副会長挨拶】

推進委員を兼務している。学校運営協議会で協議した内容を基に、地域と学校をつなぐ役として活動できたらと思っている。

３　参考資料の確認

（１）コミュニティー・スクールの概要および成果確認について

別紙「コミュニティー・スクールの概要」について確認をした。

（２）湯沢町学校運営協議会協議会規則について

別紙「湯沢町学校運営協議会規則」について確認をした。

４　協議事項

（１）令和８年度学校運営方針について

別紙「令和８年度湯沢学園学園経営方針」、スライドを用いて確認をした。

【責任校長】

湯沢学園の強みとしては、保小中進学へのギャップが少ないことや、小中職員間の協力体制が構築されていることが挙げられる。課題としては、全学年を通して学力が低いことと、学校区の拡大による保護者同士のつながりが希薄になりつつあるということである。

１つ目は、基礎学力の向上へ向け全員参加の授業をめざしたい。全員が考えを持ち関われる発表ができることを重視していく。また、挨拶を中心とした様々な場面でのつながりの強化を図りたい。学校内での教職員の意識を高め、子どもたちを沢山褒められるよう心掛けたいと考えている。

２つ目は、オール湯沢でコミュニティー・スクールの地域力を高め、ウェルビーイングな学園をつくることである。保小中連携として、児童生徒会活動を通して異学年間交流を引き続き行いたい。

３つ目は、教職員のワークライフバランスを大事にすることである。心理的安全性の高い職場で時間や効果を考えことをキーワードに進めていきたい。

【質疑応答】

○「学校」「保護者」「地域」「地域学校協働本部との連携」といった文言が多くみられるが、地域学校協働本部や地域の入った教育を今後どのように進めていくかお聞きしたい。

→総合的な学面で地域にお世話になっている。今年度は「大好き湯沢」が改訂された年であり、「地域を学ぶ」ということに重きをおいた内容となっている。地域の文化、自然を学び

ながら、地域に住んでいる人を学んだり、生き方を学んだりすることでキャリア教育へ繋げていきたい。

（２）令和８年度の年間活動計画について
令和８年度の活動計画（案）の内容について確認した。

（３）学校運営協議会の活動評価について
文部科学省の委託事業として、コミュニティー・スクールの評価をするための診断ツール（ＣＳポートフォリオ）の開発が試みられている。この評価を導入し、コミュニティー・スクールの運営をより良いものにできないかと模索している。アンケート形式で評価できるようになっているため、地域の方々や教職員に回答をいただき、その中で不足する部分を充実させようといった動きを取りたいと考えている。
昨年度は、クラブ活動の指導者へポートフォリオの数項目を抜粋して行なってみた。今度は地域の方へ広げていき、地域と学校の課題解決ができる手段として活用していきたいと思っている。

５　地域学校協働活動の報告
（１）報告事項
・スローガンについて
別紙の資料を基に昨年度作成したスローガンの説明を行った。
・地域学校協働活動
別紙一覧を基に学校にどこまで地域が入っているか、関われているかを確認した（ふれあい福祉健康フェスティバル他）。
・令和８年度地域学校協働活動計画について（別紙）

【協議、質疑応答】
① メディアの使い方について今後の展開　保護者との連携について
〇学園行事として、ワークショップ等を１時間行うことはできるものか。
→同世代の子を持つ保護者としては、同じ保護者という立場で誰かがコーディネートすることは容易ではないと思われる。また、学年委員立候補が少ない中で、伝えたいことや各学年に見合う課題を各学年で行うことは難しいと感じる。
〇学校が楽しければいいと思っている保護者が多い傾向にあるようにも感じ、保護者はメディアコントロールに対して、大きな課題として見ていないのではないか。
〇裏テーマとしての課題として行う方がいいのでは？聞きたくない話なのでは？（例）交流をしての活動をメインに提示する。
〇学園としては、メディアに関わる時間が増えることにより、睡眠時間の不足や朝食を食べず結果として学力向上に繋がらないとか、体調面でもうまく機能しないことが心配である。
〇学校内でメディアについての話し合いを持たせる機会はあるのか。
→７年度中は自分たちで話し合う機会はなかった
〇子どもたち同士で話し合い、実態やこうしたいを吸い上げたうえで、それをきっかけにワークショップや学校運営協議会の場で検討することも有効ではないか。
〇高校になると講師を呼び、学校全体でやることも多いが、義務教育でどこまでできるか？ということと、5・6年くらいから上学年なら、子供達同士での意見交換と比較ができると思われる。
〇ルール作りをしても実行的でないと意味がない。

○親子でワークショップをするとなれば、拡大運営協議会の日程についても検討が必要である。

② 昼休み見守り活動について

後ほど学校と地域学校協働本部推進部で確認し実施する予定である。

③ 新絆活動について

一部は推進委員で案内済（回答のあった地区について）、以後は意見があれば随時。

④ その他

○ＳＮＳの発信について

地域協働活動のＳＮＳを立ち上げ、今後随時発信していく予定である。学校と地域とのつながりが希薄という観点からも分かりやすく発信していきたい。

○クラブ活動について

子どものやりたいことを軸に考え、検討し、賛同いただける地域活動を募集中である。

○あおぞら班遠足、おたすけたい、職場見学、職場体験について

おたすけたいは、事業者（企業）の負担感が強いという声も聞くため、3年生の総合学習として、少し形を変えて実施できないかと考えている。

また、7年の職場インタビューから8年職場体験、9年の総合学習へと繋げる中で、パッケージ化できないかという提案も上がってきている。

6　その他

（1）次回の開催予定日時について　6月22日（月）15：00～16：30 湯沢学園会議室

（2）その他

【意見】

○案内配付時に次回の議題について提示があると事前に考えて来れるため、可能であれば追加いただきたい。

○経営方針について、プレゼンで聞くとわかりやすく理解が深まった。

7　閉会の挨拶

新学期で教職員は何かと忙しい時期かと思うが、入学式での教育長と両校長先生方からの話の中で「家庭との連携」、「規則正しい生活」についての言葉が多く聞かれたような印象だった。スマホやゲームが学力の低下に繋がっているということはデータでも示されていて、そのあたり家庭教育の充実という観点からも改善を含め取り組みたいと思っている。

就職や新学習指導要領といった内容のニュースを目にする中で、AI を導入しようといった動きもあるが、主体的で対話的な学びを実装していこうという動きやプロセスも大切に、地域の大人との連携や協働もより必要であると感じた。困り事を解決する場であるという気持ちで、今後も進めていきたいと思っている。